



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年7月29日

上場会社名 綿半ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3199 URL http://www.watahan.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野原 勇
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 有賀 博 TEL 03-3341-2766
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	28,209	19.0	255	△43.1	278	△42.0	153	△58.7
2019年3月期第1四半期	23,715	△3.9	449	6.8	480	12.2	371	52.8

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 100百万円 (△69.1%) 2019年3月期第1四半期 325百万円 (△6.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	15.58	—
2019年3月期第1四半期	37.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	59,128	14,452	24.4	1,465.59
2019年3月期	59,364	14,677	24.7	1,488.41

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,452百万円 2019年3月期 14,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	33.00	33.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	0.00	—	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	54,725	11.4	1,043	14.8	1,121	14.5	604	△8.5	61.35
通期	114,245	7.3	2,673	13.0	2,811	12.2	1,640	1.7	166.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	9,861,500株	2019年3月期	9,861,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	99株	2019年3月期	48株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	9,861,417株	2019年3月期1Q	9,861,452株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が続くなど、穏やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国の通商問題の動向や中国経済の減速が懸念されるなど、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

綿半グループが関係する事業環境のうち、小売流通市場では、消費者の節約志向が依然として根強く、業種・業態を超えた販売競争が激化する中で、人件費や物流コストが上昇するなど、厳しい事業環境が続いております。

また、建設市場では、公共投資、民間投資共に建設需要は概ね底堅く、受注環境は総じて良好に推移しましたが、人件費や建設資材の高騰などを背景に建設コストが上昇するなど、先行き不透明な事業環境となっております。

一方、貿易事業の主力事業である医薬品市場では、政府が薬価改定において大幅な薬価引下げを行うなど、市場全体を抑制する施策を推進しており、厳しい事業環境が続いております。

このような状況下におきまして、綿半グループでは、力を合わせ、分かち合い、響き合う「合才の精神」を経営理念に掲げ、持株会社である当社を中核として、デジタル化の推進や働き方変革等による収益力の向上に努め、各事業会社が顧客・マーケットに適合した事業展開を積極的に推進してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は282億9百万円（前年同四半期比19.0%増）、営業利益は2億55百万円（同43.1%減）、経常利益は2億78百万円（同42.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億53百万円（同58.7%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業では、EDLP（エブリデー・ロー・プライス）戦略のさらなる推進を図るため、前期からの継続施策である一層のチラシ削減に取り組むとともに、それに代わるお客さまへの情報発信のツールとしてSNSを活用するなど、一段と踏込んだEDLC（エブリデー・ロー・コスト）戦略を展開いたしました。

また、リアル店舗の存在価値を向上させる施策として、地域の食材・食品の強化を図るため「地場産直コーナー」の拡大に取り組んだほか、2019年4月に長野県内で茶・菓子の製造販売やカフェ併設店舗の運営を行っている株式会社丸三三原商店を連結子会社化し、同社の飲食部門のノウハウを活用するなど、特色のある地域に根ざした店舗づくりを推進してまいりました。

一方、前期にグループ入りした株式会社アベルネットを軸にインターネット通販の強化に取り組むとともに、株式取得によりグループ入りした全店舗の看板を当社の屋号である「綿半」の看板に変更し、ブランディングの強化に取り組むなど、将来の成長に向けた体制を整備してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、株式会社アベルネットの連結子会社化などが寄与し、売上高は194億3百万円（同22.5%増）となりました。一方、利益面では、天候が悪く気温が低い日が続くこと、当社が強みとする季節品の販売が低調に留まったことに加えて、前期に新規出店した可児店の開店初年度の赤字の影響もあり、セグメント利益は3億31百万円（同25.0%減）となりました。

(建設事業)

建設事業では、下請型の工事業から提案型のメーカー化へ向けて、岐阜県に設置した技術センターを中心に、ドローンを活用した屋根診断技術の開発や、開放感と断熱性を兼ね備えたアルミ大型断熱サッシ「GLAMO」など、既存事業に新しい付加価値を見出すべく独自の技術開発を継続し、提案力の向上に努めてまいりました。

一方、前期に大規模な設備投資をした自動溶接ロボットが本格稼働するなど、将来の人手不足に備えるとともに、生産性や品質の向上にも積極的に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、受注・工事ともに順調に進捗した結果、売上高は70億70百万円（同3.1%増）となりました。一方、利益面では、前年同期に比べて採算が低い工事物件が多かったことなどが影響し、セグメント損失は2億8百万円（前年同四半期は1億42百万円のセグメント利益）となりました。

（貿易事業）

貿易事業では、「取扱い原薬数を倍にする体制整備」「自然派・オーガニック商品の拡販」「海外仕入先の拡大」を重点施策として、インドやメキシコの原料調達拠点の拡充を図るなど、新原料の市場への投入準備を積極的に取進めるとともに、原薬製造の安定化・高品質化に取組み、収益確保に努めてまいりました。

当第1四半期連結累計期間における業績は、前年同期と比べて順調に進捗し、売上高は16億63百万円（同74.7%増）、セグメント利益は3億71百万円（同194.8%増）となりました。

（その他）

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。売上高は72百万円（同12.2%増）、セグメント利益は35百万円（同73.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べ2億35百万円減少し、591億28百万円（前期末比0.4%減）となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ5億1百万円減少し、320億22百万円（同1.5%減）となりました。主な要因は、現金及び預金が11億94百万円、商品及び製品が1億31百万円増加した一方、受取手形及び売掛金が16億94百万円、その他流動資産が92百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億65百万円増加し、271億5百万円（同1.0%増）となりました。主な要因は、投資その他の資産のその他が1億89百万円、建物及び構築物が64百万円増加したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ10百万円減少し、446億75百万円（同0.0%減）となりました。主な要因は、その他流動負債が9億3百万円、賞与引当金が2億97百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が9億26百万円、長期借入金が4億13百万円減少したこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ2億25百万円減少し、144億52百万円（同1.5%減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益により1億53百万円増加した一方、剰余金の配当により3億25百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、自己資本比率は24.4%（前連結会計年度末は24.7%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、2019年5月10日の「2019年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,142,039	4,336,783
受取手形及び売掛金	18,080,220	16,385,876
商品及び製品	8,260,486	8,392,081
仕掛品	257,075	176,459
原材料及び貯蔵品	726,666	759,173
その他	2,064,642	1,972,336
貸倒引当金	△6,663	—
流動資産合計	32,524,466	32,022,710
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,639,797	10,704,116
土地	8,162,196	8,204,823
その他(純額)	1,936,627	1,962,413
有形固定資産合計	20,738,621	20,871,353
無形固定資産		
のれん	1,189,682	1,174,926
その他	720,524	678,363
無形固定資産合計	1,910,206	1,853,290
投資その他の資産		
その他	4,429,493	4,619,151
貸倒引当金	△238,534	△238,247
投資その他の資産合計	4,190,959	4,380,903
固定資産合計	26,839,787	27,105,548
資産合計	59,364,254	59,128,259

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,074,302	21,148,150
短期借入金	3,524,788	3,602,448
未払法人税等	94,582	117,706
賞与引当金	493,127	790,234
工事損失引当金	9,341	10,920
完成工事補償引当金	28,090	37,781
ポイント引当金	—	11,700
その他	3,737,587	4,640,730
流動負債合計	29,961,818	30,359,671
固定負債		
長期借入金	10,565,074	10,151,208
退職給付に係る負債	2,133,645	2,146,994
資産除去債務	1,365,361	1,395,898
その他	660,506	621,684
固定負債合計	14,724,587	14,315,785
負債合計	44,686,405	44,675,457
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,404	951,404
資本剰余金	556,204	556,204
利益剰余金	12,782,638	12,610,859
自己株式	△123	△242
株主資本合計	14,290,123	14,118,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	376,386	336,192
繰延ヘッジ損益	△445	△13,010
退職給付に係る調整累計額	11,783	11,394
その他の包括利益累計額合計	387,724	334,576
純資産合計	14,677,848	14,452,801
負債純資産合計	59,364,254	59,128,259

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	23,715,155	28,209,586
売上原価	18,758,362	22,920,523
売上総利益	4,956,792	5,289,063
販売費及び一般管理費	4,507,745	5,033,473
営業利益	449,047	255,589
営業外収益		
受取利息	1,666	1,904
受取配当金	8,847	8,678
受取補償金	17,883	20,243
その他	35,656	31,934
営業外収益合計	64,053	62,761
営業外費用		
支払利息	22,427	20,862
その他	10,670	18,892
営業外費用合計	33,098	39,755
経常利益	480,002	278,596
特別損失		
固定資産除売却損	38,582	8,624
特別損失合計	38,582	8,624
税金等調整前四半期純利益	441,419	269,971
法人税、住民税及び事業税	110,145	264,938
法人税等調整額	△40,716	△148,615
法人税等合計	69,429	116,323
四半期純利益	371,990	153,648
親会社株主に帰属する四半期純利益	371,990	153,648

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	371,990	153,648
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,723	△40,193
繰延ヘッジ損益	2,250	△12,565
退職給付に係る調整額	△124	△389
その他の包括利益合計	△46,597	△53,148
四半期包括利益	325,393	100,500
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325,393	100,500

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	建設事業	貿易事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,838,834	6,859,102	952,533	23,650,469	64,685	23,715,155
セグメント間の内部 売上高又は振替高	677	7,199	18,001	25,878	—	25,878
計	15,839,512	6,866,301	970,534	23,676,348	64,685	23,741,033
セグメント利益	441,304	142,154	125,991	709,450	20,356	729,806

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	709,450
「その他」の区分の利益	20,356
セグメント間取引消去	2,563
全社費用 (注)	△283,322
四半期連結損益計算書の営業利益	449,047

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費となっております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	小売事業	建設事業	貿易事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,403,288	7,070,015	1,663,730	28,137,033	72,552	28,209,586
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,238	—	8,524	9,762	—	9,762
計	19,404,526	7,070,015	1,672,254	28,146,796	72,552	28,219,349
セグメント利益又は損 失(△)	331,040	△208,919	371,422	493,543	35,307	528,851

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	493,543
「その他」の区分の利益	35,307
セグメント間取引消去	2,928
全社費用(注)	△276,190
四半期連結損益計算書の営業利益	255,589

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費となっております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。